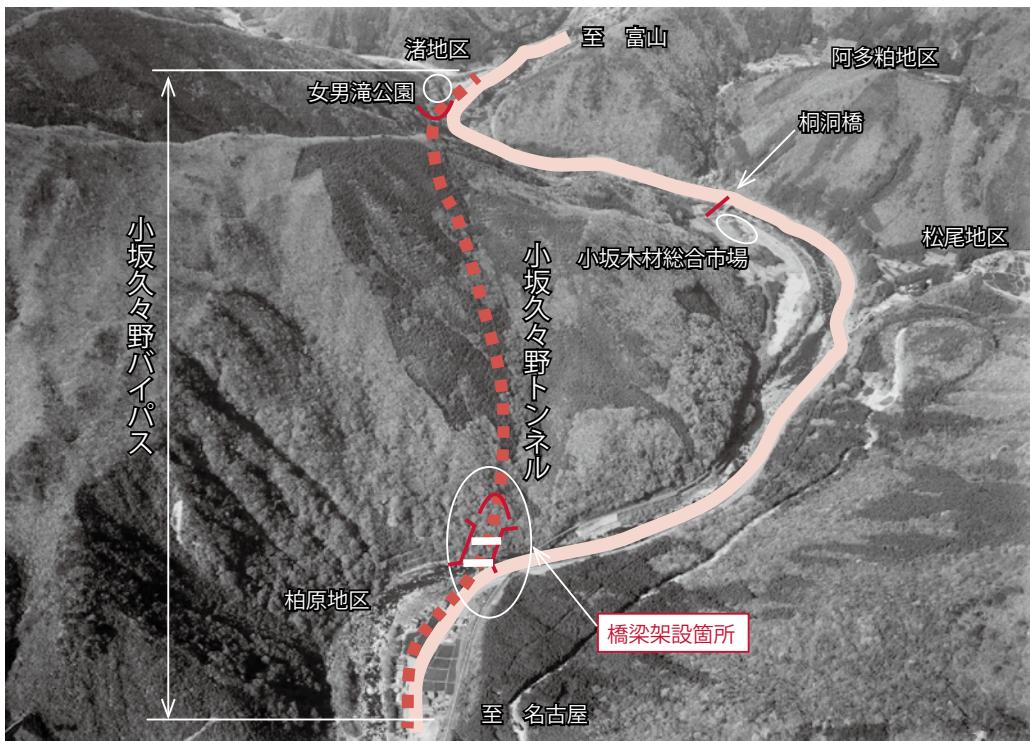


走行距離や雨量規制区間が短縮

25年度完成に向け工事が進む



小坂久々野バイパス



写真提供：国土交通省高山国道事務所

小坂久々野バイパス 4つのメリット

- ①雨量規制区間の短縮
- ②大きな事故が発生したときに別の交通路を確保することができる
- ③走行距離・移動時間の短縮
- ④トンネルなので雪が積もらない

小坂久々野バイパスは下呂市小坂町から高山市久々野町に至る延長2・2kmのバイパスです。国道41号は急峻な山岳地形と共に沿って流れる飛騨川との間にあります。また、異常気象時通行規制区間（下呂市小坂町～高山市久々野町10・6km）内に指定されています。このバイパスを整備することで、雨量規制区間の短縮や落石等の危険箇所を回避でき、走行距離の短縮や安全性が向上し円滑な交通環境が確保されることになります。

小坂久々野バイパスは下呂市小坂町から高山市久々野町に至る延長2・2kmのバイパスです。



トンネル坑内で説明を受ける（写真上）、

児童たちは長さ1511m



クレーンで橋桁を運ぶ作業を見学（下）

児童たちは長さ1511m

11月24日、小坂・湯屋の両小学校の児童が小坂久々野バイパストンネルや橋の工事現場を見学しました。

小坂町側では橋りょう架設工事（トンネル手前の柏原大橋（仮称）の橋桁を架ける作業の様子）を見学。児童らは250トンクレーンで長さ24m、重さ13tの大きな橋桁を持ち上げられる様子や高い所で動く作業員に驚きの声をあげていました。

小坂小・湯屋小児童が工事現場を見学